

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	城陽市立 ふたば園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 53
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援計画に基づき、子ども一人ひとりの状況や最善の利益を踏まえた支援を行っている。	アセスメントや行動観察を丁寧に行い、保護者や訪問先施設の意向を確認しながら支援計画を作成している。担任や関係職員と情報共有を行い、園の方針や日常の取組を尊重した支援を心がけている。	支援内容や関わり方をより具体的に記載し、職員間で支援の意図をより明確に共有できる計画作成を進める。
2	保護者との信頼関係を大切にし、日常的な情報共有や相談支援を行っている。	保護者の意見や相談内容を直接聞き取り、必要に応じて個別の時間を設けて対応している。	保護者支援の機会や内容について整理し、より計画的・継続的な支援につなげていく。
3	関係機関や訪問先施設と連携しながら、地域の中で支援を行う体制が整っている。	必要に応じてサービス担当者会議や関係機関との連絡・情報共有を行っている。就学時には、学校等と子どもの状況や支援内容について情報共有を行っている。	連携の頻度や方法を整理し、より円滑な情報共有が行える体制づくりを進める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有や打合せの時間確保が十分でない場合がある。	日常業務が多忙であり、計画内容や支援結果を共有する時間が限られてしまうことがある。	短時間でも定期的に情報共有の機会を設けるなど、業務の中で共有しやすい仕組みを検討する。
3	情報発信（ホームページや通信等）の更新頻度が十分でない。	情報発信を担当する時間や役割が明確になっていないことがある。	情報発信の担当や内容を整理し、定期的に事業所の活動を発信できる体制を整える。